

各位

会社名 ラクスル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 永見 世央
 (コード: 4384、東証プライム市場)
 問合せ先 上級執行役員 CAO 西田 真之介
 SVP of Corporate (TEL. 03-6629-4893)

2023年7月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年3月10日に公表いたしました2023年7月期(2022年8月1日～2023年7月31日)の連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年7月期連結業績予想の修正(2022年8月1日～2023年7月31日)

	売上高	売上総利益	営業利益	non-GAAP EBITDA	経常利益 又は 経常損失	親会社株主 に帰属する 当期純利益
通期	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回公表 予想(A)	39,000 ～39,600	11,800 ～12,200	1,400 ～1,700	2,700 ～2,950	800 ～1,000	900 ～1,100
今回修正 予想(B)	41,018	12,295	1,765	3,145	1,168	1,334
増減額 (B-A)	1,418 ～2,018	95 ～495	65 ～365	195 ～445	168 ～368	234 ～434
増減率 (%)	3.6 ～5.2	0.8 ～4.2	3.9 ～26.1	6.6 ～16.5	16.9 ～46.1	21.3 ～48.2
(参考)前期実績 (2022年7月期)	33,980	9,803	462	1,634	△167	1,021

(注1) non-GAAP 業績値は、財務会計上の数値(GAAP、日本基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社は non-GAAP ベースで予想値を開示しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社が控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

2. 差異の発生理由

新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済環境の回復の兆しが見られた一方で、ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰、円安方向への為替変動等の外部環境の影響を受けた中、当期においては、ラクスル事業におけるダンボールワンやノベルティ、アパレルなどの領域の拡張、更にはエンタープライズ向けの顧客獲得も伸長したことに加えて、投資効率を重視したコストコントロールを継続的に実施したことにより、各段階損益及び当社が重要指標としている non-GAAP EBITDA のいずれにおいても、前回公表の上限値を上回る見通しとなりました。

また、事業拡張に伴う人員の増加や、労働市場において競争力のある報酬体系への見直しなどを背景に法人税の税額控除の適用を受けた結果、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回公表値を大幅に上回る見通しとなりました。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、また、監査法人による会計監査前の数値であるため、実際の業績は、様々な要素により上記とは異なる可能性があります。

以 上